



本を読んだあと しゃあせな時間とまが流れる

家読うちどくをはじめてみませんか

家族で楽しむ「家読うちどく」タイム

家読うちどくとは

お家で本を読むこと、家族で本を読んでコミュニケーションをとることを目的としています。

どんなことをするの？ つぎに

たとえば・・・

まず

テレビ・ゲーム、
スマホをお休み
にして本を読む。

一緒に読め
る場所を決
める。

家族で
同じ本を
読む。

家族で読み聞
かせをする。
親から子へ
子から親へ

そして

読んだ本に
ついて話す。
(簡単でも)

読んだ本
の感想を
書く。

市立図書館、学校の図書室に行ってみましょう。

家読うちどくをするためのすてきな本と出会い、家族で幸せな時を過ごすことができますよ。



読書は、子どもの明るい未来を広げます

うちどく 家読の効果とは



① 家族のコミュニケーションの場を作ります。

人は誰かと同じ思いを共有することで、心のつながりを強く感じることができます。家族で本について話すことで、心のふれあいができます。

② 家庭での読書習慣を身につけることができます。

子どもの頃の読書活動が多いほど、未来志向や社会性などの「意識・能力」が高い傾向にあります。子どもの頃の読書習慣は、人生を豊かにします。(参照：国立青少年教育機構「子どもの読書活動と人材育成に関する調査研究」)

③ 家庭学習の基礎が養われます。

テレビやゲームのし過ぎに気を配るようになり、時間を有効に使うことができるようになります。本を読むことで読解力が身に付きます。

うちどく 「家読」をされたおうちの方の感想

初めて子どもに読み聞かせしてもらって、うれしかったです。

子どもと本の感想を話すことができ、普段とは違う会話ができてよかったです。

家族で同じ本を読みました。思ったことや感じたことがみんなちがっていて、びっくりしました。でもみんなの考えがきけてうれしかったです。

なかなか子どもと一緒に本を読むことがないので、家読はいい機会でした。

いつもは一人でよむけど、お母さんたちとよむととっても楽しい。



柳川市では、子どもの読書活動推進をきっかけ、その基本方針と具体的な施策を示した「柳川市子ども読書活動推進計画」が平成27年3月に策定されました。

この計画の中で、家庭での子どもの読書の推進と家族間の絆を深めるために、柳川市内の小学校19校と柳川市立図書館が連携・協働して、子どもの読書活動を推進していきます。

